

所沢市議会議員 谷口まさのり 発行

ツイッターは以下へ
谷口のつぶやきを発信！

谷口まさのり 所沢市政レポート

『6月議会報告編／8月12(日)市政報告会 ご案内編』

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111 / FAX：04-2941-5112

・メール(パソコン)：tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・ツイッター：twitter.com/#!/taniguchi1965

ツイッターは頑張って更新しております!! ・ホームページ：『谷口まさのり』で検索ください。



谷口まさのり

- ◆一般ゴミの収集運搬の民間委託化67%で年間コスト4.2億円削減を提言
- ◆狭山ヶ丘中学校の学習環境格差是正(防音の為のエアコン設置)請願採択
- ◆『情報システム関連のコスト削減』『公共施設マネジメント白書を受けて』の提言・・・

私、谷口は6月議会において、議案に対する質疑、一般質問において発言致しました。詳細は中継録画で見られます。(『所沢市議会』で検索⇒『所沢市議会 録画中継』⇒『定例会6月』⇒ 6/19質疑、6/28一般質問)



1) 一般質問 (主に市執行部に対し、事業等に関する質問)

- ① ごみ収集運搬コストの大幅削減(一般質問にて明らかになったこと及び市の答弁)
 - ★一般ゴミの収集運搬の『民間委託』の割合は33%、市が直接行う『直営』は67%(担当世帯数の割合)
 - ★民間委託分コストが3.05億円、市直営分が14.46億円で合計17.51億円⇒それぞれ委託1%分の単価を計算すると、『民間委託』が0.0924億円、『市直営』が0.2158億円となり、 $0.2158 / 0.0924 = 2.34$ 、よって、市直営の方が民間委託より単価的に2.34倍高くなる。(谷口試算より)
 - ★現在の民間委託を2倍に、市直営を1/2(つまり、民間67%、直営33%)にした場合は上述単価から算出して、合計で13.31億円となり、収集運搬コストは現状よりも計算上、年間4.2億円ダウンできる。(谷口試算より)
 - ★現在、収集運搬の現業職の人数は約120名(内、30歳代、40歳代で半分の約60名)で、H17年度以降、他の現業職等に異動した実績は合計17名。異動先は道路維持部門、下水道維持部門、公園部門などがある。
 - ★谷口より1つの考え方として、『30歳代、40歳代の職員においては今後のキャリア形成の為に一般職と同様に他の職場に異動することもあっては良いのではないか。またこの年代の人数は合計約60名なので、他の現業職や十分な研修を行いながら一般職への異動も視野に入れ、このようなことが実現すると、先程提言した市直営を半分(120名⇒60名)にするシナリオ(年間4.2億円のコスト削減案)とも合致する。』との政策提言を行いました。
 - ★(谷口⇒市へ)『具体的には、(毎年採用する新人職員人数とのバランスを考慮し)年間10名程度を6年間かけて異動することが実現できれば、上述シナリオ通りになるが、簡単にいかない要因は何かあるのか?』
 - ★(市⇒谷口への答弁主旨)『(要因は)異動先の確保が課題である。(民間委託拡大に向けての)委託地域見直しについては、部内に新たな検討部会を設けたので、ここで今後検討していく考えである。』

(裏面へ)

② 戸建て住宅を活用した障がい者用グループホーム等の推進（親亡き後の地域での生活）

（谷口⇒市へ）障がい者の方が、親御さん亡き後もできるだけ住み慣れた地域で生活する為に、現在、一戸建て住宅を（形状的にはそのまま）障がい者用グループホーム等に活用しようとする場合、所沢市としては『特殊建築物』と解釈しているので、『用途変更』が必要になり各種規制がかかる。これにより、煩雑な手続きと余計なコストが生ずる為、このことが障がい者用グループホーム等の設置を妨げる要因の1つになっている。（その他、消防法の規制もあり）先進事例である福島県では、小規模（延べ床面積が200㎡未満等）な場合は『用途変更』は必要なく、この点においての規制はない。これは所沢市独自の判断で実現可能なので、解釈変更することを提言する。

（市長⇒谷口への答弁主旨）谷口議員の気持ちはよくわかったところであるが、現時点では、市として建築基準法上においては住宅として取り扱うことは難しいと考える。

③ 『所沢市公共施設マネジメント白書』を受けての行・財政運営方針について

今年3月発行の『所沢市公共施設マネジメント白書』（今後、老朽化する公共施設を今まで通りに建て替えていくと、最近6年間の公共施設投資額の平均42億円の約2倍の85億円が40年間毎年必要になり、現実的には極めて難しいという結論）に関連して質問を致しました。⇒**谷口の捉え方** 今後は公共施設の統廃合が必要になり、つまりは複合化を推進することで、施設を残すのではなく、必要な機能を残す発想に転換していかねばなりません。またこの結果を踏まえて、市民の方との共通認識をいかに共有していけるかが、今後の公共施設に関する方針決定において非常に重要になってくると考えます。

④ その他、情報システムのコスト削減の方向性（総務省の『中間標準レイアウト』の活用提言）について質問しております。（詳細は『録画中継』をご覧ください。）

2) 狭山ヶ丘中学校 学習環境格差是正の為の請願* が採択される。

*正式請願名：『所沢市立狭山ヶ丘中学校の復温工事（暖房設備工事）・除湿工事（冷房設備の追加工事）が定められた整備方針に基づき、平成25年度から復温・除湿工事を実施することを願う件』

本請願の本質は単なるエアコン設置ではなく、激しい飛行機騒音という劣悪な学習環境を少しでも是正する請願であり、私自身、請願の紹介議員となりました。



「8/12（日）谷口まさのり 市政報告会 開催ご案内」

報告会終了後には会場を変えて会費制で食事をしながらの交流会も予定しております。お気軽にご参加下さい。尚、交流会は、ささやかではありますが、引き続き『東北復興応援企画』として、被災県からの食品を揃えての開催を予定しております。

◆ 8/12（日）15:30～17:30 前後

会場：狭山ヶ丘コミュニティーセンターの学習室にて（18席）

* 尚、今回は小手指駅周辺での開催はございません。ご理解のほど宜しくお願い致します。

◆ 谷口まさのり 経歴 ・昭和40年生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業 ・栗田工業（環境系）や省エネのコンサル企業に計15年間在籍（技術営業） ・2011年4月 所沢市議選に当選（2,644票、みんなの党 公認） ・趣味等：スポーツ観戦、カラオケ、大のビール党 ・環境カウンセラー（環境省資格）／社会保険労務士（年金・労働分野の国家資格）